

審査結果報告書

平成 28 年 2 月 15 日

主 査 氏 名

宮 地 鑑



副 査 氏 名

七里 真美



副 査 氏 名

張 明紀



副 査 氏 名

河内 康雄



1. 申請者氏名 : DM12022 箸方 健宏

2. 論文テーマ :

冠動脈血管内性状およびその機能にフォーカスした循環器治療戦略：冠動脈ステント留置と2型糖尿病の薬物治療における検討

3. 論文審査結果 :

本論文は虚血性心疾患における冠動脈血管内性状とその機能に焦点を当てた治療戦略について研究したものである。ひとつは狭心症患者に対する薬剤溶出性ステント（ゾタロリムス溶出性ステント）留置後の血管内皮性状を経時的に観察し、抗血小板療法の期間短縮につながる極めて有用な知見が得られている。また、新規糖尿病治療薬であるテネリグリプチンによる血管内皮機能および心拡張能に及ぼす影響も検討している。結果として3ヶ月の内服により、血管内皮機能の改善と左室拡張能の改善がみられ、テネリグリプチンには血糖改善効果のみならず心保護作用も有する可能性を示した。

以上の研究内容は今後の虚血性心疾患と慢性心不全治療の成績改善への多大なる貢献を果たすと思われるので、学位授与にふさわしい研究論文であると考えます。